

# 令和元年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,224	4,963	△ 261	(注1)
施設整備費補助金	1,533	1,107	△ 425	(注2)
補助金等収入	504	177	△ 327	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	0	
自己収入	2,283	2,319	36	
授業料、入学金及び検定料収入	2,208	2,194	△ 14	(注4)
雑収入	75	125	50	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	746	697	△ 49	(注6)
引当金取崩	-	-	-	(注7)
目的積立金取崩	200	54	△ 146	(注8)
計	10,510	9,339	△ 1,171	
支出				
業務費	7,707	6,744	△ 963	(注9)
教育研究経費	7,707	6,744	△ 963	
施設整備費	1,554	1,414	△ 139	(注10)
補助金等	504	188	△ 316	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	746	620	△ 125	(注12)
計	10,510	8,966	△ 1,544	
収入-支出	0	372	372	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に見積もっていた前年度からの繰越額以外に、次年度への繰越額が発生したことに伴い、予算額に比して決算額が261百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部について交付年度が翌年になったこと、また、計画時では予定していなかった国への補助金の返還になったことに伴い、予算額に比して決算額が425百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、計画時では予定していた補助金獲得ができなかったことに伴い、予算額に比して決算額が327百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として当初の見込みより志願者数及び入学者数が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が14百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として合同企業説明会(キャリアミーティング)の開催等の収入金額が予定より増加したことに伴い、予算額に比して決算額が50百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より減少したことに伴い、予算額に比して決算額が49百万円少額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、該当ありません。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩額が減額となったため、予算額に比して決算額が146百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が963百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が139百万円少額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が316百万円少額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が125百万円少額となっています。